

【まちづくり懇談会(5 会場)意見総括と地区別詳細】

I. 水道料金の改定(値上げ)に関する総括

1. 全体的な雰囲気と理解

- ・料金改定の必要性は概ね理解されています。特に施設の老朽化更新（合計 14 件以上）と、将来の水道事業維持のためには「今やらないともっと大変」（合計 5 件）という認識が強く、負担はあるが仕方ないという雰囲気です。
- ・「今までの安すぎた」（佐見 3 件、白北 2 件など）ため、値上げは妥当だという意見も見られます。

2. 主な不安・懸念事項と提案

- ・具体的な料金案（金額）がないことへの不安（合計 18 件以上）が共通して強く、「どれくらい上がるか不安」「数年後また改定があるのでは」といった懸念が出ています。
- ・高齢者や一人暮らしの生活負担への心配が強く（蘇原「年金では厳しい」、佐見「高齢者に厳しすぎる」など）、優遇措置の提案もあります。
- ・井戸水や山水を利用している家庭との公平性についての議論が、佐見、白川地区で目立ちます。
- ・提案： 急な負担増を避けるため、「段階的に値上げにしてみようか」という提案が複数地区で出ています。

II. 学校再編に関する総括

1. 全体的な雰囲気と理解

- ・“子どもの人数を考えると統合は「仕方ない」”という理解（合計 12 件）が浸透しています。
- ・「学びの質の向上」や「交流が増える」ことへの期待が多く寄せられています。

2. 主な不安・懸念事項

通学に関する負担が最大の不安要因です。「バスの乗車時間が長い」「小学生には遠い」といった声（合計 20 件以上）が全地区で共通しています。特に冬の道路・安全面や、発熱時の迎えに時間がかかることへの具体的な不安が示されています。

地域の喪失感や文化継承への強い懸念があります。「学校がなくなると地域力が低下する」「地域の祭りや行事の場がなくなる」といった声が、特に黒川地区から多く出ています。

3. 主な提案

廃校舎の活用案について、「民間誘致」（白北、黒川で提案）、「企業誘致」（蘇原で提案）、「老人向け住宅」（佐見で提案）など、多様な案が出されています。

地域文化の継続として、「佐見歌舞伎を子どもたちに教える場を設けてほしい」（佐見）、「ふるさと教育は大事」（白川）といった要望があります。

Ⅲ. 地区別の雰囲気と特徴的な自由意見(詳細)

1. 蘇原地区

水道料金の特徴：

「塔洞地域の支線がよく故障」「断水が続くのが不安」など、具体的な設備の故障に関する意見が出ました。「全部交換して徹底的にやってほしい」「不要な支線管を減らすべき」と、事業の徹底的な合理化を求める声があります。

提 案：「水道アプリ（節水・利用量の可視化）」や「新築家庭への水道無料キャンペーン」といったユニークな提案も見られました。

学校再編の特徴：

教 育：「英語教育など専門性の高い先生に来てほしい」と、質の高い教育への期待が具体的です。

跡地利用：「廃校舎には企業誘致をすべき」という具体的な活用案が提案されています。

2. 白川地区

水道料金の特徴：

「山水中心で水道をほとんど使っていない」という、井戸・山水利用世帯の現状に関する意見があります。また、「消火栓の水が使いにくい」という設備に関する具体的な指摘も出しました。

学校再編の特徴(工事と地域文化への配慮が特徴)：

環 境：新校舎の建設について「工事の音が心配」「工事車両が敷地に入るのは危険」といった、建設時の具体的な不安が寄せられました。

地域文化：「白川地区は歌舞伎等がない文化がどうなる？」「黒川や佐見の文化ができなくなるのでは？」と、統合によって他地区の地域文化が消えることへの懸念を示しており、町全体の文化継承への意識が高いです。

教 育：「川遊びを教育に取り入れてほしい」という、自然体験の要望があります。

3. 白北地区

水道料金の特徴：

「もっと早く値上げした方がよい」「上げなければ逆に心配」といった、町の将来を見据えた積極的な意見が見られます。また、「漏水修繕後の舗装が悪い！！」という、施工への具体的な不満も出ています。

学校再編の特徴(廃校舎活用への不安が特徴)：

跡地利用への不安：「廃校になった校舎を怪しい人が買ったりしないか」「一般の人も入れると事件の心配がある」など、跡地利用の曖昧さからくる具体的な防犯上の懸念が特徴的です。

そ の 他：「通学時間で睡眠に影響は？」と、子どもの生活リズムへの影響を心配する声があります。「お金の勉強」など、実践的な教育の提案も出ています。

4. 黒川地区

水道料金の特徴：

「浄化槽の費用もある」ため、水道料金の値上げは負担が大きいという具体的な生活負担に関する意見があります。「町の方向性は良い」「話を聞いて安心した」という、説明を受けたことによる納得感を示す声も見られます。

学校再編の特徴(統合への強い懸念が特徴)：

地域の核の喪失：「できる限り黒川に小学校を残してほしい」という否定意見が強く出されています。

文化継承の危機：「文化的な行事を今後どうしていくか。(祭り・歌舞伎) 特色がなくなる」「リーダーシップがとれない。文化の継承が必要」と、地域文化の喪失への懸念が最も具体的かつ深刻です。

自然との関わり：「森林を知らずに卒業していくことが残念」「黒川の自然で遊ぶことがない」など、地域の自然環境を活かした教育の維持を強く要望しています。

そ の 他：「学校がなくなると移住者にも選ばれなくなる」、「黒川高校に通うのも遠い。せめて小学校は黒川に残してほしい」など、地域全体の存続に関わる意見が多く出ています。

5. 佐見地区

水道料金の特徴：

「地区差で料金を設定すべき」という意見が出ました。佐見は漏水が少ないため、管路の長さで一律にするのはどうかという疑問です。また、「井戸が浅くなっている」「山水が出ない時がある」など、自然環境の変化に関する具体的な不安も出されています。

学校再編の特徴：

通 学：昔に比べればバス移動は許容範囲だが、バスでの移動が多い分、教育の場（遠足など）は増やしてほしい。

地域文化：佐見歌舞伎を学校で教える機会の確保を強く要望しています。

そ の 他：「移住者が住みやすい町になってほしい」「山村留学もやっている」など、町全体を見据えた意見や取り組みへの言及があります。
